



北海道札幌市
ホクレン
くみあいファーム
一生懸命
①



恵庭農場



あいあい農場



しろおい 白老農場



とせしみず 十勝清水農場

鶏ファーストで実現する 安全、安心、安定の卵生産

札幌市のホクレンくみあいファーム(株)は、2024年にJA全農とホクレングループの採卵養鶏農場運営会社として誕生した。北海道内の4農場で年間約1万tの鶏卵を生産し、ホクレンが取り扱う鶏卵の半数を安定的に供給する体制を構築している。高病原性鳥インフルエンザ(以下、鳥インフルエンザ)対策や吸血衛生害虫のワクモ撲滅、北海道産の飼料にこだわったブランド卵の生産にも積極的に取り組む。新会社生まれ変わったメリットと安全・安心な卵を安定供給する同社の魅力に迫った。

ホクレンくみあいファーム株式会社

代表取締役社長：大野 剛

設立年：2024年

本社：北海道札幌市中央区北4条西1丁目1番地 共済ビル5階

農場：愛別農場、恵庭農場、白老農場、十勝清水農場

従業員数：本社6人、農場52人(臨時・派遣・外国人技能研修生含む)2025年6月現在

飼育羽数：ひな約20万羽／年、成鶏約57万羽

生産量：鶏卵約1万t／年

HPはこちら



北海道

Hokuren
kumiai farm



北海道は
卵もおいしいよ～



より一層の安全・安心を求めて 私たちは日々進化し続けます

私たちホクレンくみあいファーム株式会社は、2024年10月にJA全農&ホクレングループの採卵養鶏農場運営会社として誕生しました。

2025年4月からホクレンくみあい飼料株式会社の4つの農場を引き継ぎ、北海道内において有数の採卵養鶏会社です。

安全・安心なホクレンのたまごを安定的に食卓に届けるため、従業員一同がんばってまいります。



代表取締役社長
大野 剛さん

出荷の流れ



最近の社内の動き

- 鳥インフルエンザ対策の徹底
- 施設・設備の更新、改修
- アニマルウェルフェアの取り組み
- 職場環境の改善、働き方改革の推進



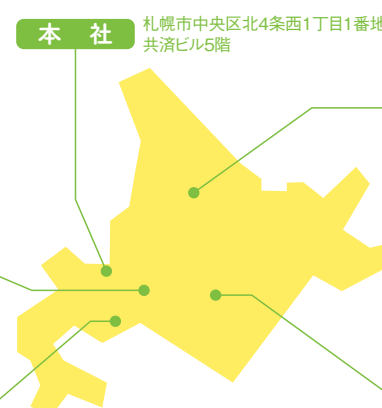
ホクレンくみあいファーム(株)の概要



恵庭農場 恵庭市北島27-1
成鶏約24万羽を飼養し、年間約4,400tの鶏卵を生産



白老農場 白老郡白老町字白老831番地
年間約20万羽のひなを生産している育雛農場



愛別農場 上川郡愛別町字豊里1009
成鶏約17万羽を飼養し、年間約3,000tの鶏卵を生産



十勝清水農場 上川郡清水町字下佐幌西4線110-1
成鶏を約16万羽飼養し、年間約3,000tの鶏卵を生産

HISTORY

- 1971年 北海スターチック(株) 操業開始
- 1987年 (有)清水養鶏操業開始
- 2021年 ホクレンくみあい飼料(株)へ両社経営譲渡
- 2023年 白老農場新3・新4号鶏舎完成
- 2024年 恵庭農場新1号鶏舎完成
ホクレンくみあいファーム(株)設立(ホクレンくみあい飼料(株)100%子会社)
- 2025年 ホクレンくみあい飼料(株)より農場事業譲受し事業開始

白色鶏卵は、ビタミンEを強化し、酵母や乳酸菌などの微生物資材を活用。赤色鶏卵は、JA全農・JA全農たまご(株)で開発した米油や魚粉、糖蜜を配合している特許飼料「生食用鶏卵の生産方法(卵かけご飯用鶏卵の生産方法)」を給与している。また、北海道産の小麦、子実用トウモロコシ、飼料米を配合し、付加価値を高めている。

質にこだわるホクレンの鶏卵は香港にも輸出しており、販売チャネルの開拓にも余念がない。

北海道産の原料を活用した 特徴飼料を開発

農場で生産した鶏卵は、全量をホクレンへ販売。ホクレンGPセンターでパッキングした後、道内を中心にホクレンショップやスーパーなどの店頭に並ぶ。

白色鶏卵は、ビタミンEを強化し、酵母や乳酸菌などの微生物資材を活用。赤色鶏卵は、JA全農・JA全農たまご(株)で開発した米油や魚粉、糖蜜を配合している特許飼料「生食用鶏卵の生産方法(卵かけご飯用鶏卵の生産方法)」を給与している。また、北海道産の小麦、子実用トウモロコシ、飼料米を配合し、付加価値を高めている。

質にこだわるホクレンの鶏卵は香港にも輸出しており、販売チャネルの開拓にも余念がない。

鳥インフルエンザ対策は 関係各所が連携して徹底的に

ホクレンへの安定的な鶏卵(原卵)供給体制を確立するために、鳥インフルエンザなどの重大疾病の防疫体制は大きな柱となる。

ホクレンくみあいファーム(株)を構成する4農場は、ホクレンくみあい飼料(株)の業務部農場運営室として2021年から事業を行っている。JA全農、ホクレンなどで協議し、持続可能な系統鶏卵事業の方向性や、補助事業の活用による投資コスト抑制、競争力強化の観点からホクレンくみあいファーム(株)を設立。2025年4月から農場事業の業務を始めた。

並行して国の畜産クラスター事業(施設整備事業)の申請・承認がなされ、恵庭農場での鶏舎2棟、事務所の新築、集卵所の補修を行っている。

安定した雇用は安定した生産につながるため、従業員の労働環境の改善にも積極的に取り組む。男女別のトイレや更衣室の設置、資格取得のサポート、雇用条件面の充実など、安心して働ける環境を整備している。

会社が設立されて間もないため課題も多いという。「老朽箇所の補修、雨水対策や路面の改善、鶏糞処理体制の見直しなど多岐にわたります。各農場と本社で毎月実施している生産管理会議では、生産成績の改善や課題の早期解決を行っています。すべてを一度に実施することは難しいです」と生産・管理部長の池田謙太郎さん。

まずは雇用促進を強化して安定的な生産体制の構築を目指す。同時に、飼料を中心としたコスト圧縮、適正な鶏卵品質とサイズなど、円滑な業務を遂行できる体制を心がける。さらに、鳥インフルエンザを発生させない環境を引き続き追求していく。

ホクレンくみあいファーム(株)の挑戦は始まったばかりだ。

安定出荷が至上命題です。
鳥インフルエンザ対策や
従業員の待遇改善など、
やれることはすべてやります!



生産・管理部長
池田 謙太郎さん

2カ月に一度、管理獣医師と(株)科学飼料研究所、JA全農家畜衛生研究所クリニックセンターが合同で農場を巡回し、鶏舎の破損箇所や、場内散布消石灰・踏込み消毒槽の交換など農場の防疫状況を点検している。

渡り鳥の飛来状況や世界における鳥インフルエンザの発生状況など、最新情報も共有。家畜保健衛生所と定期的に協議し、鳥インフルエンザ発生時の対応を机上でシミュレーションしている。

この他、場内散布の粉状の消石灰を粒状へ変更。消石灰有効性可視化剤「リトアクア」による効能調査、「音撃クラススナイパー」によるカラスの忌避、車両消毒ゲートの設置、ネズミ監視カメラの開発、夜間監視カメラによる野生生物の行動調査などで対策している。

愛別農場では、生産性を著しく低下させる吸血衛生害虫のワクモ対策に取り組んだ。汚染されている鶏舎からの人の移動を禁止。加えて、鶏舎の洗浄や薬剤の散布など、従業員の根気強い対策で2023年に撲滅を確認した。

農場は全てウインドウレス鶏舎で、自動給餌や自動集卵のシステムを備える。白老農場と恵庭農場では数年前からシス



高品質な鶏卵を生産するために「とにかく鶏を観察すること」と飯塚農場長。温度や湿度、飼料の消費量などをデータだけで判断せずに、人の目で確認することを徹底している。鳥インフルエンザ対策にも余念がない。



プレートドライヤーシステム

密閉構造の装置で鶏糞を連続乾燥し、省人化を実現。屋内設置で鳥獣害が発生しないのもメリット

音撃カラススナイパー

働きやすい職場になるよう積極的に取り組んでいます

施設更新



畜産クラスター事業（施設整備事業）で鶏舎や事務所の新設、集卵場の改修など、施設への投資が活発

飯塚農場長

恵庭農場

働きやすい職場になるよう積極的に取り組んでいます



「人間だって空気がよんでいる場所にいたくないじゃないですか」と池田農場長。鶏の気持ちになって行動する鶏ファーストの思考が全従業員に行き届いている。高品質の卵を生産するために、鶏の飼育環境にこだわっている。

車両消毒ゲート



病害虫を絶対持ち込まない。大型車両も難なく通過できる

ワクモ撲滅



吸血衛生害虫のワクモは生産性が落ちるだけではなく、アニマルウェルフェアの観点からも駆除が必要

鶏ファースト！常に自分を鶏の立場に置き換えて思考しています

池田雄志農場長

愛別農場



「導入時に体調が優れないひなも淘汰せずに別のケージに保護して育成しています」と菅原農場長。成鶏農場に最高の状態で引き継ぐために、命を扱う責任感と緊張感の中で仕事に取り組んでいる。



生産管理

従業員の経験とファームコンピューターのデータと合わせて総合的に判断

見回り

温度や湿度、飼料の減り具合など、刻々と変化する状況を把握

従業員のやる気や能力を引き出せるように努めています！

ひなの世話



ひなを受け入れる2日間でその後の成長が決まる。準備も含めて細心の注意を払う。最近はや成率99%台、CV値4%台と好成績

菅原和裕農場長

白老農場

従業員のやる気や能力を引き出せるように努めています！



毎月1回の業務検討会で、仕事の課題を従業員間で積極的に話し合い、改善している。業務の改善だけでなく、従業員のチームワークやコミュニケーション力が向上するなど、人材の育成にもつながっている。

鳥インフルエンザ対策

鳥インフルエンザ対策にシーズンは関係ない。全従業員によるミーティングで、今できること、やるべきことを整理して実行している

アニマルウェルフェア

絶食を伴わない誘導換羽飼料を給与。換羽時専用飼料および産卵開始時専用飼料を使用している

防疫や生産性向上は徹底した基本の励行につきます！

熟練の技



安全・安心は人にしか生み出せない

平田正信農場長

十勝清水農場

従業員のやる気や能力を引き出せるように努めています！